

○東洋大学ライフデザイン学部規程

平成28年規程第27号・平成28年4月1日施行

改正

平成29年4月1日  
平成30年4月1日  
平成31年4月1日規程第21号  
平成31年4月1日規程第108号  
令和3年4月1日規程第60号  
令和4年4月1日規程第53号

東洋大学ライフデザイン学部規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、東洋大学学則（昭和24年4月1日施行。以下「学則」という。）に基づき、ライフデザイン学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

**第2条** ライフデザイン学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

**第3条** ライフデザイン学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

**第4条** ライフデザイン学部は、学則第39条第1項第1号から第5号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

**第5条** ライフデザイン学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。

2 人間環境デザイン学科は、4年次の卒業関係科目の履修するための条件を、別表第5のとおり定める。

(履修上限単位数)

**第6条** ライフデザイン学部は、学則第42条第3項に基づき、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を、24単位とする。ただし、生活支援学科生活支援学専攻介護福祉士コース所属学生は、卒業の認定及び学位授与に関する方針に照らし、1年次の秋学期以降、各学期で単位数の上限に4単位を追加することができる。

2 前項に加え、資格取得を目的とした、授業の期間の日程以外の期日に実施する学外実習科目については、1年間で4単位を上限として履修することができる。

(教育職員その他資格)

**第7条** 学則第45条に基づき、ライフデザイン学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 社会福祉士試験の受験資格
- (3) 精神保健福祉士試験の受験資格
- (4) 介護福祉士試験の受験資格
- (5) 保育士となる資格
- (6) 社会福祉主事任用資格

2 前項第1号の資格において、ライフデザイン学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等	免許状の種類及び教科
生活支援学科子ども支援学専攻	幼稚園教諭1種免許状
健康スポーツ学科	中学校教諭1種免許状（保健）
	中学校教諭1種免許状（保健体育）
	高等学校教諭1種免許状（保健）
	高等学校教諭1種免許状（保健体育）
	養護教諭1種免許状
人間環境デザイン学科	高等学校教諭1種免許状（工業）
	高等学校教諭1種免許状（工芸）

3 介護福祉士養成に関する規程は、別に定める。

（資格取得のための授業科目及び単位数）

**第8条** ライフデザイン学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員の資格 別表第6に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 社会福祉士試験の受験資格 別表第7に掲げる授業科目の単位を修得
- (3) 精神保健福祉士試験の受験資格 別表第8に掲げる授業科目の単位を修得
- (4) 介護福祉士試験の受験資格 別表第9に掲げる授業科目の単位を修得
- (5) 保育士となる資格 別表第10に掲げる授業科目の単位を修得
- (6) 社会福祉主事任用資格 別表第11に掲げる授業科目の単位を修得

（改正）

**第9条** この規程の改正は、学長がライフデザイン学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成27年度以前の入学生については、なお従前の例による。

#### 附 則（平成29年規程第135号）

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、なお従前の例による。

#### 附 則（平成30年規程第86号）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成31年4月1日規程第21号）

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

#### 附 則（平成31年4月1日規程第108号）

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

#### 附 則（令和3年4月1日規程第60号）

- 1 この規程は、2021年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2020年度以前の入学生については、なお従前の例による。

#### 附 則（令和4年4月1日規程第53号）

- 1 この規程は、2022年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2021年度以前の入学生については、第4条別表第3及び第8条第1号別表6は、なお従前の例による。

**別表第1** 教育研究上の目的（第2条関係）

ライフデザイン学部

1. 人材の養成に関する目的
----------------

(1) 人間の生活を総合的に捉え、幅広い人間価値の受容と個人や社会のニーズに的確に応えられる人材
(2) 専門分野のみならず、多方面にわたる分野の関係性とその必要性を理解できる人材 (3) 専門的な職業観に基づく柔軟かつ的確な実践対応能力を発揮できる人材
(4) 新たなライフスタイルの創造を志向できる人材
(5) 国際的視点で判断し、表現し、コミュニケーションできる人材
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
(1) 問題探求能力と課題の抽出及び提案能力
(2) 課題解決のための目標と解決までの作業プロセスを的確に企画し開示できる能力 (3) 他者とのコミュニケーションの必要性を理解し実行できる能力
(4) 参加者の規模にかかわらず、異なる思考をもつ多様な人々との対話を重視できる能力(5) 失敗を恐れず継続的改善を目指して自己を検証できる能力
(6) 母国語以外の国際的言語によるコミュニケーション能力
3. その他の教育研究上の目的
学生、教職員が一体となり、共に物事を探求し、具体的に表現できる教育研究体制の確立

ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻

1. 人材の養成に関する目的
生活支援学専攻では、社会福祉学を基礎とし、介護福祉、精神保健福祉、医療福祉などの関係分野に関する専門的知識や実践的技術を培い、高い見識をもって、相談やケアを必要とする人々の支援に携わる人材とともに、少子高齢化、グローバル化など、社会経済の構造変化が急速に進んでいる国内外の幅広い分野において活躍し、やがてはそれぞれの分野において指導的立場を担える人材を養成することを目指している。
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
生活支援学専攻では、ライフデザイン学という新しい学問体系の中で、さまざまな人々のそれぞれのライフステージにおいて見出される生活支援に関する課題の解決に向け、課題を個人、家庭、行政など異なる水準において系統的、論理的に整理し、自ら考え、対処の方向を見出し、関係者と連携して、行動することができる能力を培うことを教育上の目標とする。
3. その他の教育研究上の目的
ライフデザイン学部の他の2学科の教育とも相俟って、自らの専門領域にとどまらず、現代社会の諸事象を深く理解し、信念と社会の一員としての自覚をもって行動できる人材を養成する。

ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

1. 人材の養成に関する目的
子ども支援学専攻では、子どもと保護者を支援するための専門的知識や技術の習得を基本とし、グローバルな視点を持ちながら地域社会の保育・幼児教育・子ども家庭福祉をリードしていく人材を養成することを目的とする。合わせて多文化共生保育・教育に関わる理解と実践力、保育等の質向上に向けた情報機器活用能力を備えた人材を養成することを目的とする。専門職の資格としては、幼稚園教諭1種免許状、保育士資格を得ることができる。希望者は、社会福祉士国家試験受験資格も得ることができる。
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
子ども支援学専攻では、保育、幼児教育、子ども家庭福祉などの分野に関する高い専門的知識を学び、子どもを支援するために必要な具体的な技術の修得と関連づけていくことのできる能力を養うことを目標とする。そして、さまざまな分野において課題に直面した際に、自らで考えてそれらの課題を解決していける能力を培うことを教育の目標とする。
3. その他の教育研究上の目的

子ども支援学専攻で養成する人材は、その専門性から、子どものみならず、子育てをしている保護者を支援する力量も必要とされている。そのためには、さらに、社会的に広い知識と、人間への尊敬を基本とする深い思慮が必要であり、それらの育成も目的とする。

#### ライフデザイン学部健康スポーツ学科

1. 人材の養成に関する目的
少子・高齢化社会、福祉社会に生きる現代人の「生活の質（Quality of Life）」の向上を目指し、身体活動やスポーツの機能的、社会・文化的側面に関する教育研究を行う。健康、身体、福祉に関する幅広い知識や技術の修得を通して、子どもから高齢者、障がい者の健康の維持・増進の支援に寄与できる人材を育成する。
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
理論と実践を有機的に連携させた健康やスポーツに関わる知見を総合的かつ系統的に教授することにより、健康に関わる幅広い理論的根拠や実践的能力を身に付け、子どもから高齢者、障がい者の身体活動能力の確保や健康の維持増進を実現する能力、各種施設や地域社会において健康づくりをマネジメント、プロモートする管理能力などを修得させる。
3. その他の教育研究上の目的
ライフデザイン学部の他学科の教育を横断的に組み合わせることにより、既存のスポーツ指導者に「福祉」、「保育」、「まちづくり」などの概念を加えた新しい健康スポーツ人材の育成を目指す。

#### ライフデザイン学部人間環境デザイン学科

1. 人材の養成に関する目的
ユニバーサルデザインの考え方を根底にした教育研究を行い、建築、まちづくりからプロダクトデザイン、生活支援機器デザインに至る知識、技術の修得を通じて「幅広い分野の知識を持ったデザイナー」「多様なデザインの企画及び運営に関わる人材」「デザイナーと使用者双方の支援者もしくは理解者」として、次代の社会的役割を担うことの出来る人材を育成する。
2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標
講義と演習を通じた教育により、理論を理解した上で実践に反映できる力、さまざまな考え方をつなぐことができるコミュニケーション力を修得させる。1～2年次では基礎力の養成のため、デザインに関する幅広い知識を得るとともに、スケッチ、モックアップ、模型、CAD、CG等の制作を通して、デザイン及びそのプレゼンテーション等に関わる基本的な技術を身につける。3～4年次はコース別カリキュラムに分かれて、それぞれの分野の専門知識・技術を修得する。
3. その他の教育研究上の目的
人間環境デザインに関わるあらゆる可能性を探求する。ユニバーサルデザインの考え方を背景として、地域・関連分野の諸施設・他大学等との共同研究を積極的に進めると共に、建築・まちづくり・生活支援機器・住宅改善・プロダクト・インタラクション等に関する教育研究を通して社会に貢献する。また、インターンシップを活用した、より実践的、実務的な教育を進める。

**別表第2** 卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針(第3条関係)

#### ライフデザイン学部

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針
学部の教育課程に定められた科目を履修し、本規程に定める卒業要件を満たした、以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し、学位を授与します。

- (1)人権を尊重する倫理観を身につけ、社会貢献を行う高い意欲を有する人材。
- (2)系統的な知識と実践力を備えた専門家となりうる人材。
- (3)社会的支援が必要な人を含むすべての人びとの豊かな生活を支援できる人材。
- (4)分析力、発想力、創造力、コミュニケーション力、そして実践力を磨き、社会で求められる指導力を身につけ、社会のさまざまな分野でイノベーションの起点となる人材。

## 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

「教育目標」、「ディプロマ・ポリシー」を踏まえて、専門的な知識及び技術をもって教育を行います。また、正課内および正課外授業によって、学士および社会人として身につけるべき能力を培います。

### 1. 教育課程編成の体系化

- (1)学部共通の必修科目を設定して、学部の教育内容を明解にする。
- (2)基礎的な学力と豊かな教養を身につけるための基盤教育科目を配置する。
- (3)幅広い知識の修得を踏まえ、各学科・専攻における特色を生かした専門分野やコースを設定する。
- (4)実社会への適応力を養うため、諸資格取得に対応した教育課程の編成および実践的な科目を配置する。
- (5)実践的力量形成が求められる分野・領域については演習科目を、技術修得が必要な分野・領域については実習・実技科目を、適宜配置する。
- (6)キャリア形成を支援するため、社会人基礎科目を配置する。
- (7)グローバルに活躍できる人材を育成するために、留学支援科目と海外実習科目を配置する。

### 2. 教育方法、教育充実の取り組み

- (1)学部・学科の専門領域の学修を教員と学生とが一体となっていって行ない、その成果を積極的に社会に還元する。
- (2)アクティブラーニング等の参加・問題解決型授業を展開して、学生の自立性や創造性を培う教育を実践する。
- (3)学科・専攻の専門領域の学修とともに、他学科・専攻への理解を持ち、広い視野と高い見識を有することができる教育を行う。
- (4)実習・実技を踏まえた、資格養成等の実践的な教育を行う。
- (5)実社会への適応力を養うため、インターンシップ等の社会と直結した教育方法を積極的に取り入れる。

## 3. 入学者の受入れに関する方針

「人材の養成に関する目的」、「教育目標」を踏まえて、専門性を修得する意欲、資質など、求める人材像等本学部の学生受け入れの基本方針を明示します。

- (1)現代人にとっての価値あるライフ（生命、生活、人生）を探究するために、生活・健康・環境に軸足を据えて理論と実践をバランスよく学び、人間の豊かな生活の創造を目指す学生。
- (2)専門的であり、実践的な教育を求める学生。
- (3)人びとの暮らしをより豊かにするための基本的な考え方や技術を学び、社会に貢献したいという目標を持った学生。

## ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻

### 1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

生活支援学専攻は、地域共生社会実現の観点から、様々な生活問題を解決しコミュニティづくりを主導する福祉系専門職や国内外の多種多様な課題に対峙できる人材を育成するという教育目標のもとに、次の基準を満たす学生に卒業を認定し学位を授与します。

#### (1)知識・理解

相談やケアを必要とする人々の支援、コミュニティづくり、社会資源の調整・開発などの社会福祉学に関する体系的知識を修得している。

## (2) 思考・判断

様々な生活問題への鋭敏な感受性と深い洞察力を有し、課題解決に向けた支援の方策を検討することができる。

## (3) 関心・意欲

少子高齢化やグローバル化により複雑化する社会構造の中で、リーダーシップをとる自覚を持ち、課題の解決に積極的に取り組む意欲を有している。

## (4) 態度

ソーシャルワークの根源的思想に基づいて、人権と個人の尊厳を守る倫理観を有し、自らが立てた課題に向けて努力することができる。

## (5) 技能・表現

多様な社会問題の解決に資する論理的思考力と、グローバル社会で協働していくことのできるコミュニケーション能力を有している。

## 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

生活支援学専攻では、地域共生社会の実現に貢献するという教育目標およびディプロマ・ポリシーに求める学修成果の修得を実現するため、以下の方針でカリキュラム（教育課程）を編成します。

(1) 社会福祉学、ソーシャルワーク、ケアワークなどの学問領域を主軸に置き、専門性を高めるよう「社会福祉政策系」「福祉社会開発系」「福祉臨床系」といった3つの系（コース）を編成し、基盤教育の履修により、地域共生社会の実現に関連する幅広い知識を修得することができるよう編成します。

(2) 外国語コミュニケーション能力の習得を目指し、英語については英語習熟度別クラスを編成し英語コミュニケーション能力の養成を目指すだけでなく、アカデミックスキル育成のための英語選択科目を配置し、英語による専門教育を実施します。

(3) 1年次よりゼミナール科目を配置し、学問分野における基礎的な学習方法を理解させるとともに、2年次には、3つの系を設定し、さらには、3年次以降では、各系をそれぞれの分野に分けて、理論的、実践的課題について発展的な学修ができるように科目を配置します。

(4) 「洞察力」「実践力」といった現場実践能力を高度に修得するよう、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得や医療福祉へも対応する科目を、学生の興味関心に応じて複数資格の履修も可能となるように配置します。

(5) 自らの問題意識で物事を解明する力を身につけるために、「卒業論文」の執筆を推奨します。

## 3. 入学者の受入れに関する方針

生活支援学専攻では、学士課程教育を行うにあたり、次のような学生を受け入れることとします。

(1) 現代社会が直面する課題の解決に自ら取り組もうとする主体性と学習意欲をもつ学生。

(2) 人間と社会について深い洞察力を持ち、思考力と表現力に富む学生。

(3) 人間の成長・発達に深い関心を持ち、すべての人々を包摂する実践を通して地域共生社会の実現に貢献する意欲のある学生。

### <入学までに修得すべき学習等への取り組み>

社会福祉の専門性を身につけようとして志望する者として、特に次の4点について常に意識的に学習することを求めます。

(1) 社会福祉の専門性は、広範な知識と教養、人間性によって裏打ちされるものであるため、机上の学習だけでなく、社会的活動、文化・芸術活動などにも自主的に取り組むこと。

(2) 多様な考え方や意見に対して、一定の距離を置くスタンスを身につけるため、論説文などの論理的文章を十分に理解し、自らの考えを論理的に表現できるスキルの習得を目指すこと。

(3)現代社会における政治・経済など、地球規模の社会諸事象について、歴史的観点を含めて、関心を持ち、基礎的知識を獲得しておくこと。

(4)グローバルな支援活動も視野に収めることを踏まえ、外国語や外国文化に興味・関心を持ち、外国語を用いた積極的なコミュニケーション能力の向上に努めること。

## ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

### 1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

子ども支援学専攻では、子どもと保護者を支援するための専門的知識や技術の習得を基本として、グローバルな視点を持ちながら地域社会の保育・幼児教育・子ども家庭福祉をリードしていく力の習得、合わせて多文化共生保育・教育に関わる理解と実践力、保育等の質向上に向けた情報機器活用能力の習得を教育目標として、以下の要件を満たす学生に対して学位を授与します。

#### (1)知識・理解

保育学、幼児教育学、子ども家庭福祉学に関する基礎的知識を体系的に習得していること。

#### (2)問題解決能力・協同性

保育・幼児教育・子ども家庭福祉の課題に対する科学的探究心を持ち、他者と協同しながら主体的に問題を解決する能力を身につけていること。

#### (3)子どもの人権、主体性

子どもの人権や主体性を尊重し、多様な育ちや幸福を支えていくための倫理観を基盤とした保育・教育を行う姿勢と技能を身につけていること。

#### (4)多文化共生理解

多様な価値観や文化への関わりを通して、ローカル及びグローバルな視点から保育・幼児教育・子ども家庭福祉における多文化共生の意義や方法を理解していること。

#### (5)ICT活用能力

ICT活用能力 保育・幼児教育・子ども家庭福祉の質の向上に向け、ICTを活用して情報を共有、管理、分析する能力を身につけていること。

#### (6)幅広い教養

多角的な視野から幅広い教養を身につけ、さまざまな知見を活用・統合する能力を身につけていること。

### 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

(1)基礎的な学力と豊かな教養を身につけるための基盤教育科目を配置する。

(2)さまざまな子どもや保護者を支援する力を備えるための専門科目を配置する。保育士・幼稚園教諭の資格取得に必要な専門科目を配置する。保育士・幼稚園教諭の資格取得に必要な専門科目を必修・選択として設定し、学びの系統性に配慮しながら順次履修できるよう配置する。

(3)諸資格取得のための学外実習は、実習毎に事前・事後学習を徹底し、専門科目との関連に配慮して教育課程を編成する。

(4)子ども支援学専攻に関連する今日的課題を主体的に見出し、問題解決能力の育成を図るために1年次から4年次のゼミナール配置を行う。

(5)幼稚園教諭1種免許・保育士資格取得のみならず、社会福祉士受験資格取得が可能なカリキュラムを編成し、高度なソーシャルワーク技能を併せ持つ人材育成をはかる。

(6)グローバルに活躍できる人材を育成するために語学・文化教育にも力を入れ、海外研修に関

する科目を設定する。

(7)多文化共生社会を実現する力を持った人材養成を目指し、1年次から継続的なカリキュラムを編成する。

(8)保育・幼児教育・子ども家庭福祉の分野におけるICT活用能力の習得を目指し、実践的な学びを実現する科目配置を行う。

### 3. 入学者の受入れに関する方針

以下のような点を入学者の条件として求めます。

(1)子どもの成長発達や保育・教育の問題に深い関心を持ち、それを学ぼうとする知的好奇心と強い意志があること。

(2)入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有していること。

(3)対人援助専門職者は援助の過程で他者との連携が求められる。よって、積極的に他者とかわり、対話を成立させ、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有していること。

## ライフデザイン学部健康スポーツ学科

### 1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

健康スポーツ学科の教育課程に定められた科目を履修し、本学学則に定める卒業要件を満たした以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し、学位を授与します。

(1)健康や身体活動、スポーツに関する正しい知識のうえに思考判断できる。

(2)健康づくりの専門家として指導力、実践力を有し社会貢献できる。

(3)全てのライフステージや生活状況にある人々を理解して健康づくりを支援する意欲がある。

(4)文化・社会と自然に関する学術的・実践的な基本知識を身につけ、世界の多様性を尊重し、異文化・多文化を理解する態度を身につけている。

(5)社会のグローバル化に向けた、ICTスキル、言語運用能力、コミュニケーション力、論理的思考力からなる汎用的技能を身に付けている。

(6)身体活動、スポーツに携わる（「する」、「みる」、「ささえる」）専門家として、健康科学、スポーツ科学、身体教育学に関連する基本知識を体系的に身につけている。

(7)身体活動、スポーツに関する基本知識のうえにすべてのライフステージや生活状況にある人々の健康課題やスポーツに携わるための専門知識を身につけている。

(8)上記の基本知識、専門知識をもとに主体的に課題を把握し、課題の解決策を見つけ、他者と協働してそれを実行し、解決することができる。

### 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

健康スポーツ学科では身体活動やスポーツを通じて人々の健康づくりに貢献できる人材を育成するために、以下のカリキュラムポリシーに従い教育内容を構成しています。

(1)身体活動やスポーツを通じた健康づくりを企画し実践できる専門家として必要な科目を必修として設定する

(2)指導力、実践力を養成するために講義と演習または実習を組み合わせ設定する。

(3)社会貢献の基盤づくりのため、ボランティア、フィールドワーク、インターンシップなどアクティブラーニング科目を設定する。



(4)全てのライフステージや生活状況にある人々の健康づくりを実践できるよう専門性に応じた5つのコース制（ヘルスプロモーション・スポーツサイエンス・グローバルスポーツ・ユニバーサルスポーツ・アスリートサポート）を取り入れ、対象者別の幅の広い専門科目を設定する。  
 (5)グローバルに活躍する発想を持つ人材を育成するため、海外の健康やスポーツを実践的に学ぶ科目を設定する。

### 3. 入学者の受入れに関する方針

健康スポーツ学科では乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層かつ健常者から障がい者まで様々な人々を対象とした健康づくりに貢献できる人材を育成するために、以下のようなことを考え、実行できる学生を受け入れます。

(1)身体活動やスポーツを通じた健康づくりを熟知し、世の中に広めていく意欲をもっている。

(2)人に対する愛情と関心を持ち、コミュニケーション能力をそなえている。

(3)全てのライフステージや生活状況にある人々に対する関心や理解をもっている。

(4)健康スポーツ学を学ぶための十分な基礎的学力を有する。

## ライフデザイン学部人間環境デザイン学科

### 1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

人間環境デザイン学科では、身の回りの製品のデザインから、私たちの暮らしの基盤となるまちづくりまでの幅広い分野を対象に、当学科で得た知識や能力を生かして、私たちを取り巻く環境をより良いものに変えていくという意欲を持った、以下のような能力を備えた学生に対して卒業を認定し、学位を授けます。

#### (1)知識の修得

デザインや構想に関する広範かつ専門的な知識を修得した学生。

#### (2)デザインに関わる技術の修得

デザインや構想を表現する具体的な技術や方法を修得した学生。

#### (3)発想力の獲得

デザインや構想に関する着想を発見し、それを形にする能力を獲得した学生。

#### (4)コミュニケーション能力の修得

デザインや構想を検討する際に他者と議論を交わしたり、あるいは自分のデザイン（や構想）を伝えるためのコミュニケーション能力を修得した学生。

#### (5)表現力の獲得

デザインや構想を精度の高い作品として表現したり、プレゼンテーションする能力を獲得した学生。

#### (6)哲学の確立

社会情勢や地球環境を理解し、デザイナーとしての哲学をもって社会と関わる能力を獲得した学生。

### 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

人間環境デザイン学科では4年間を通して以下の3点を重視したカリキュラム構成とします。

1. デザイン演習を主軸とした基礎の徹底から専門への展開
2. モノとコトのデザインスキルの修得
3. 理論（講義）と実践（演習）を関連付けた学修内容の深化  
各学年での学修段階については以下のように設定する。
  - (1) 1年次は、モノとコトのデザインをするために必要となる基礎知識・スキルを、講義・演習を通じて徹底して学ぶ。
  - (2) 2年次は、講義を通じてより幅広いデザイン対象（プロダクト、生活支援機器から建築・都市まで）の基礎知識を深めると共に、1年次に学んだデザインの基礎スキルをもとにしたデザイン手法を修得する。
  - (3) 3年次以降は、より専門的な知識と実践的な技術を学ぶ。学生の希望を尊重しつつ、設定された三つのコース、空間デザインコース（※1）、生活環境デザインコース（※2）、プロダクトデザインコース（※3）の各分野で、より高度なデザイン表現と、その背後にある理念や知識について学ぶ。
  - (4) 3年生秋学期からプレゼミに所属し、4年生春学期から研究室に配属することで、さらに高度なレベルの学びを深める。

（※1）空間デザインコース：私たちを取り巻く環境を建築やまちという視点で考えるコースである。建築意匠、建築計画、建築構法など建物のデザイン、さらには都市計画、まちづくり、バリアフリーなど、人々を取り巻くすべての生活空間にまで視野を広げて、豊かな暮らしの環境を考えていく。

（※2）生活環境デザインコース：私たちを取り巻く環境をさまざまな人の暮らしという視点で考えるコースである。住居学、福祉住環境計画、子ども環境、障害のある方のための道具のデザインなど、利用者の参加による使い手の顔が見える人間中心設計や、ユニバーサルデザインによる、生活者の視点に立ったデザインを学ぶ。

（※3）プロダクトデザインコース：私たちを取り巻く環境を製品や情報という視点で考えるコースである。製品のデザイン、情報デザイン、メカトロニクスなど広い分野にわたって、「モノ」や「コト」のデザインから人々の暮らしを考えていく。

### 3. 入学者の受入れに関する方針

人間環境デザイン学科は、人間を取り巻く環境を「デザイン」という視点から学びを深める学科である。

デザインに関わる分野は幅広く多様な人材が参加している世界であり、知識と意志があれば、誰でもデザインの世界の中で活動できる可能性がある。

特に、これからの社会ではモノを生み出す行為と共に、コトを創り出す能力も求められ、モノ・コトのデザインは人の暮らしを取り巻く環境のすべてに影響を及ぼす行為だと柔軟に理解した上で、

- (1) 自分の可能性を信じ、探求する意欲を持つ学生
- (2) 自分のデザイン能力を磨こうとする意欲のある学生
- (3) 問題の本質を探り、柔軟な解決方法を発想しようとする熱意をもった学生を受け入れる。

### 別表第3 教育課程（第4条関係）

#### (1) ライフデザイン学部 基盤教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択	哲学	1～4	2	
学問の基礎—人文科学	選択	美術一般	1～4	2	
学問の基礎—人文科学	選択	音楽一般	1～4	2	

総合・学際	選択	全学総合A	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合B	1～4	2	
哲学・思想	選択	人間と宗教	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	生活と環境	1～4	2	
哲学・思想	選択	生命と倫理	1～4	2	
学問の基礎－自然科学	選択	生活と栄養	1～4	2	
哲学・思想	選択	ジェンダー論	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	物理	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	数学	1～4	2	
学問の基礎（自然科学）	選択	危機管理と救急法	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	文学	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	文章読解	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	口頭表現法	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	レポート・論文のまとめ方	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	プレゼンテーション技法	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	文化論	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	文化人類学	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	グローバル化と文化A	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	グローバル化と文化B	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	グローバル化と文化C	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	グローバル化と文化D	1～4	2	
国際人の形成（世界の伝統と文化）	選択	グローバル化と文化E	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	社会学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	心理学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	法学	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	日本国憲法	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	経済学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	経営学	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	基礎会計学	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	学校と地域（学校安全を含む）	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	生活と住居	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	地域研究法	1～4	2	
哲学・思想	選択	人権と生活	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	家族の社会学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	統計学	1～4	2	
学問の基礎（人文科学）	選択	身体論	1～4	2	
総合・学際	選択	総合A	1～4	2	
総合・学際	選択	総合B	1～4	2	
総合・学際	選択	総合C	1～4	2	
総合・学際	選択	総合D	1～4	2	

総合・学際	選択	総合E	1～4	2	
総合・学際	選択	総合F	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合F	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合G	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合H	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合C	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合L	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合M	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合I	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合J	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合K	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合D	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合E	1～4	2	
国際人の形成（語学）	必修	基礎英語演習Ⅰ	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	基礎英語演習Ⅱ	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語コミュニケーションⅠA	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語コミュニケーションⅠB	1	1	
国際人の形成（語学）	必修	応用英語演習Ⅰ	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	応用英語演習Ⅱ	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語コミュニケーションⅡA	2	1	
国際人の形成（語学）	必修	英語コミュニケーションⅡB	2	1	
国際人の形成（語学）	選択	グローバルコミュニケーションⅠ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	グローバルコミュニケーションⅡ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Practical English I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Practical English II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	English e-Learning I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	English e-Learning II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	ドイツ語Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	ドイツ語Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	フランス語Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	フランス語Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	中国語Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	中国語Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	韓国語Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	韓国語Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	必修	日本語Ⅰ	1～4	1	外国人留学生
国際人の形成（語学）	必修	日本語Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（語学）	必修	日本事情Ⅰ	1～4	2	

国際人の形成（語学）	必修	日本事情Ⅱ	1～4	2	のみ履修可
健康・スポーツ科学	選択・選択必修	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	健康スポーツ学科の学生のみ2単位選択必修とする
健康・スポーツ科学	選択・選択必修	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択・選択必修	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択・選択必修	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択・選択必修	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択・選択必修	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義A	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義B	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	コミュニケーション&マナー	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	公務員論	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデベロップメント	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択	企業のしくみ	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	社会貢献活動入門	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	テクニカルライティング	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	アカデミックライティング	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	インターンシップ入門	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Pre-Study Abroad Listening/Speaking	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Pre-Study Abroad Writing	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Business English Communication	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese I Theory	1～4	2	初修者のため
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese	1～4	2	の日

		e s e I P r a c t i c e			本 語・日 本文 化科 目
国際人の形成（語学）	選択	I n t e g r a t e d J a p a n e s e I I T h e o r y	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	I n t e g r a t e d J a p a n e s e I I P r a c t i c e	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	I n t e g r a t e d J a p a n e s e I I I T h e o r y	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	I n t e g r a t e d J a p a n e s e I I I P r a c t i c e	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e R e a d i n g I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e R e a d i n g I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e R e a d i n g I I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e L i s t e n i n g I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e L i s t e n i n g I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e L i s t e n i n g I I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e W r i t i n g I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e W r i t i n g I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e W r i t i n g I I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	P r o j e c t W o r k I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	P r o j e c t W o r k I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	P r o j e c t W o r k I I I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e C u l t u r e a n d S o c i e t y A	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	J a p a n e s e C u l t u r e	1～4	2	

		a n d S o c i e t y B			
国際人の形成（語学）	選択	I n t r o d u c t i o n t o J a p a n o l o g y A	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	I n t r o d u c t i o n t o J a p a n o l o g y B	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	異文化理解概論	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	留学のすすめ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	海外研修Ⅰ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	海外研修Ⅱ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	海外実習Ⅰ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	海外実習Ⅱ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外研修Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外研修Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外研修Ⅲ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
国際人の形成（グローバル社会 の実際）	選択	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	

(2)－1 ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻 専門科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	選択	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	選択	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学科専門科目	選択	情報リテラシーⅡ	1～4	2	
学科専門科目	必修	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	

学科専門科目	必修	実習の基礎	1	2	
学科専門科目	必修	生活支援学基礎演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	生活支援学基礎演習Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	生活支援学専門演習Ⅰ	3	2	
学科専門科目	必修	生活支援学専門演習Ⅱ	3	2	
学科専門科目	必修	生活支援学専門演習Ⅲ	4	2	
学科専門科目	必修	生活支援学専門演習Ⅳ	4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	児童・家庭福祉	1	2	
学科専門科目	選択	医学概論	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉発達史	1	2	
学科専門科目	選択	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情A	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情B	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際児童福祉	1～4	2	
学科専門科目	選択	Introduction to Social Work	3～4	2	
学科専門科目	選択	生活支援学総合演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	生活支援学総合演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉調査の基礎	1	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅱ（専門）	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ（専門）	2	2	
学科専門科目	選択	福祉レクリエーション	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1	
学科専門科目	選択	精神医学と精神医療Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神医学と精神医療Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ（専門）（精神）	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（専門）（精神）	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ（専門）（精神）	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅱ（専門）（精神）	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ（専門）（精神）	4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（精神）	3	1	
学科専門科目	選択	保健医療と福祉	2	2	



学科専門科目	選択	高齢者福祉	1	2	
学科専門科目	選択	障害者福祉	1	2	
学科専門科目	選択	権利擁護を支える法制度	2～3	2	
学科専門科目	選択	貧困に対する支援	2～3	2	
学科専門科目	選択	刑事司法と福祉	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ (専門)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門)	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門科目	選択	精神保健福祉制度論	3	2	
学科専門科目	選択	精神障害リハビリテーション論	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習(精神)	4	4	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(精神)	4	1	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	4	1	
学科専門科目	選択	医療ソーシャルワーク論	3	2	
学科専門科目	選択	医療福祉演習Ⅰ	3	2	
学科専門科目	選択	医療福祉演習Ⅱ	3	2	
学科専門科目	選択	生活支援学特別講義A	3～4	2	
学科専門科目	選択	生活支援学特別講義B	3～4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門)	4	2	
学科専門科目	選択	地域医療福祉専門実習A	4	2	
学科専門科目	選択	地域医療福祉専門実習B	4	2	
学科専門科目	選択	卒業論文	4	4	
学科専門科目	選択	災害と福祉	3	2	
学科専門科目	選択	居住福祉論	3	2	
学科専門科目	選択	ケアマネジメント論	3	2	
学科専門科目	選択	ケアワーク論	2	2	
学科専門科目	選択	スクールソーシャルワーク論	3	2	
学科専門科目	選択	ジェンダーと福祉	3	2	
学科専門科目	選択	福祉ICT	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉国際体験演習	3	2	
学科専門科目	選択	国際福祉開発交流	3	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルアクション論	3	2	

学科専門科目	選択	現代社会とメンタルヘルス	3	2	
介護福祉士コース 科目	選択	介護福祉援助概論Ⅰ	1	2	
介護福祉士コース 科目	選択	介護福祉援助概論Ⅱ	2	2	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅱ	1	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅲ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅳ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅴ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅵ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅶ	3	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅷ	3	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅸ	4	1	
介護福祉士コース 科目	選択	生活支援技術Ⅹ	3	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護コミュニケーション技術Ⅰ	2	2	
介護福祉士コース 科目	選択	介護コミュニケーション技術Ⅱ	2	2	
介護福祉士コース 科目	選択	介護過程Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護過程Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護過程Ⅲ	3	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護過程Ⅳ	4	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護総合演習Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護総合演習Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護総合演習Ⅲ	2	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護総合演習Ⅳ	3	1	
介護福祉士コース 科目	選択	介護福祉実習Ⅰ	1	2	
介護福祉士コース	選択	介護福祉実習Ⅱ	2	3	

科目					
介護福祉士コース 科目	選択	介護福祉実習Ⅲ	3	3	
介護福祉士コース 科目	選択	介護福祉実習Ⅳ	4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	発達と老化の理解	1～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	認知症の理解Ⅰ	1～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	認知症の理解Ⅱ	1～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	こころとからだのしくみⅠ	1～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	こころとからだのしくみⅡ	1～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	こころとからだのしくみⅢ	1～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	医療的ケアⅠ	3	2	
介護福祉士コース 科目	選択	医療的ケアⅡ	3	2	
介護福祉士コース 科目	選択	医療的ケアⅢ	4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	実習指導の理論と方法	3～4	2	
介護福祉士コース 科目	選択	介護過程の応用	3～4	1	

(2)ー2 ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻 専門科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通 科目	選択	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通 科目	選択	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学科専門 科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学科専門 科目	選択	情報リテラシーⅡ	1～4	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
学科専門 科目	必修	子ども支援学概論	1	2	
学科専門 科目	必修	子ども支援学演習Ⅰ	1	1	
学科専門 科目	必修	子ども支援学演習ⅡA	2	1	

学科専門 科目	必修	子ども支援学演習ⅡB	2	1	
学科専門 科目	必修	多文化共生保育・教育	3	1	
学科専門 科目	選択必修	子どもソーシャルワーク	3	2	本科目と「ソーシャルワーク演習Ⅳ（専門）」から1科目選択必修
学科専門 科目	必修	子ども支援学演習ⅢA	3	1	
学科専門 科目	必修	子ども支援学演習ⅢB	3	1	
学科専門 科目	必修	子ども支援学演習ⅣA	4	1	
学科専門 科目	必修	子ども支援学演習ⅣB	4	1	
学科専門 科目	選択	保育原理	1	2	
学科専門 科目	選択	児童・家庭福祉	1	2	
学科専門 科目	選択	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	
学科専門 科目	選択	保育者論	2	2	
学科専門 科目	選択	社会的養護	1	2	
学科専門 科目	選択	子ども家庭支援論	4	2	
学科専門 科目	選択	教育基礎論	1	2	
学科専門 科目	必修	教育制度論	1	2	
学科専門 科目	選択	子どもと健康	1	1	
学科専門 科目	選択	子どもと人間関係	1	1	
学科専門 科目	選択	子どもと環境	2	1	
学科専門 科目	選択	子どもと言葉	1	1	
学科専門 科目	選択	子どもと表現Ⅰ	1	1	
学科専門 科目	選択	子どもと表現Ⅱ	1	1	
学科専門 科目	選択	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
学科専門	選択	医学概論	1	2	

科目					
学科専門 科目	選択	社会福祉発達史	1	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワークの基盤と専門 職Ⅱ	1	2	
学科専門 科目	選択	子どもの権利と教育	1～4	2	
学科専門 科目	選択	子育て支援実践	1～4	1	
学科専門 科目	選択	子どもと文学	1～4	2	
学科専門 科目	選択	国際文化事情 A	1～4	2	
学科専門 科目	選択	国際文化事情 B	1～4	2	
学科専門 科目	選択	生活と総合学習	1～4	2	
学科専門 科目	選択	多文化共生保育・教育実践	1～4	1	
学科専門 科目	選択	国語表現法	1～4	2	
学科専門 科目	選択	国際児童福祉	1～4	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	
学科専門 科目	選択	子どもの保健	2	2	
学科専門 科目	選択	子どもの健康と安全	3	1	
学科専門 科目	選択	子どもの理解と援助	3	1	
学科専門 科目	選択	子どもの食と栄養（実習含む）	1	2	
学科専門 科目	選択	社会的養護内容	2	1	
学科専門 科目	選択	乳児保育Ⅰ	2	2	
学科専門 科目	選択	乳児保育Ⅱ	4	1	
学科専門 科目	選択	保育実習Ⅰ A（施設）	2	2	
学科専門 科目	選択	保育実習指導Ⅰ A（施設）	2	1	
学科専門 科目	必修	幼児教育論	1	2	
学科専門 科目	必修	発達心理学	1	2	
学科専門 科目	選択	教育心理学	2	1	

科目					
学科専門 科目	選択	子ども家庭支援の心理学	3	2	
学科専門 科目	選択	保育内容の指導法（言葉）	2	1	
学科専門 科目	選択	保育内容の指導法（健康）	2	1	
学科専門 科目	選択	保育内容の指導法（人間関係）	2	1	
学科専門 科目	選択	保育内容の指導法（環境）	3	1	
学科専門 科目	選択	保育内容の指導法（音楽表現）	3	1	
学科専門 科目	選択	保育内容の指導法（造形表現）	2	1	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法 Ⅱ	2	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法 Ⅲ（専門）	2	2	
学科専門 科目	選択	社会福祉調査の基礎	1	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅱ（専門）	2	2	
学科専門 科目	選択	福祉レクリエーション	2	2	
学科専門 科目	選択	保健医療と福祉	2	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1	
学科専門 科目	選択	高齢者福祉	1	2	
学科専門 科目	選択	障害者福祉	1	2	
学科専門 科目	選択	権利擁護を支える法制度	2～3	2	
学科専門 科目	選択	貧困に対する支援	2～3	2	
学科専門 科目	選択	刑事司法と福祉	2～3	2	
学科専門 科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	
学科専門 科目	選択	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	
学科専門 科目	選択	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	
学科専門 科目	選択	社会保障Ⅰ	2～3	2	
学科専門 科目	選択	社会保障Ⅱ	2～3	2	

科目					
学科専門 科目	選択	特別支援教育・保育Ⅰ	1	1	
学科専門 科目	選択	特別支援教育・保育Ⅱ	2	1	
学科専門 科目	選択	保育実習ⅠB（保育所）	3	2	
学科専門 科目	選択	保育実習指導ⅠB（保育所）	3	1	
学科専門 科目	選択	保育・教育相談	3	2	
学科専門 科目	選択	幼児教育方法（情報機器の活用を含む）	3	2	
学科専門 科目	選択	保育指導法	3	2	
学科専門 科目	選択	保育カリキュラム論	2	2	
学科専門 科目	選択	保育内容総論	1	1	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ（専門）	3	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅲ（専門）	3	2	
学科専門 科目	選択必修	ソーシャルワーク演習Ⅳ（専門）	3	2	本科目と「子どもソーシャルワーク」から1科目選択必修
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2	
学科専門 科目	選択	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4	
学科専門 科目	選択	子育て支援	4	1	
学科専門 科目	選択	保育実習指導Ⅱ（保育所）	4	1	
学科専門 科目	選択	保育実習指導Ⅲ（施設）	4	1	
学科専門 科目	選択	保育実習Ⅱ（保育所）	4	2	
学科専門 科目	選択	保育実習Ⅲ（施設）	4	2	
学科専門 科目	選択	教育実習Ⅲ（事前・事後指導を含む）	3	5	
学科専門 科目	選択	保育・教職実践演習	4	2	

学科専門科目	選択	音楽表現専門演習	2～4	2	
学科専門科目	選択	発達心理学専門演習	2～4	2	
学科専門科目	選択	保育音楽表現技術	2～4	2	
学科専門科目	選択	音楽あそびの実践	2～4	2	
学科専門科目	選択	体育あそびの実践	2～4	2	
学科専門科目	選択	造形あそびの実践	2～4	2	
学科専門科目	選択	ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門)	4	2	
学科専門科目	選択必修	卒業論文	4	4	1科目 選択必修
学科専門科目	選択必修	卒業制作	4	2	

(2)ー3 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 専門科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	選択	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	選択	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学科専門科目	必修	情報リテラシーⅡ	1	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学基礎演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	健康科学概論	1	2	
学科専門科目	必修	解剖学	1	2	
学科専門科目	選択	人体組織学	1～4	2	
学科専門科目	必修	生理学	1	2	
学科専門科目	選択	生化学	1	2	
学科専門科目	必修	公衆衛生学	1	2	
学科専門科目	必修	エアロビクス基礎実習	1	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学基礎演習Ⅱ	2	2	



目					
学科専門科目	必修	運動生理学	2	2	
学科専門科目	必修	健康栄養論	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ生理学	2～4	2	
学科専門科目	選択	コーチング概論	2～4	2	
学科専門科目	必修	レクリエーション実習	2	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅠA	3	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅠB	3	2	
学科専門科目	必修	生涯スポーツ論	1	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	選択	健康心理学	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康教育学	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康社会学	2～4	2	
学科専門科目	選択必修A	解剖学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	生理・生化学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	運動生理学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	公衆衛生学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	フィールドワーク実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	バイオメカニクス実習	2	1	
学科専門科目	選択必修B	フィットネス実習	1～4	1	
学科専門科目	選択必修B	レクリエーションルスポーツ実習	1～4	1	
学科専門科目	選択必修B	エスニックスポーツ実習	1～4	1	
学科専門科目	選択必修B	ウインタースポーツ実習	1～4	1	
学科専門科目	選択必修B	アウトドアスポーツ実習	1～4	1	

目					
学科専門科目	選択必修B	アダプテッドスポーツ実習	1～4	1	
学科専門科目	選択	機能解剖学	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ医学	2～4	2	
学科専門科目	選択	トレーニング基礎実習	2～4	1	
学科専門科目	選択	スポーツと栄養	2～4	2	
学科専門科目	選択	運動処方	3～4	2	
学科専門科目	選択	運動負荷試験	3～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ心理学	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツトレーニング指導法	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ社会学	1	2	
学科専門科目	選択	スポーツ人類学	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ史	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康文化論	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康政策と行政	2～4	2	
学科専門科目	選択	地域スポーツクラブ論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ政策論	2～4	2	
学科専門科目	選択	身体文化論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ文化論	2～4	2	
学科専門科目	選択	発育・発達・加齢論	1	2	
学科専門科目	選択	レクリエーション論	1	2	
学科専門科目	選択	小児保健（含学校保健）	2～4	2	
学科専門科目	選択	子ども健康スポーツ指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	子ども健康スポーツ論	2～4	2	
学科専門科目	選択	高齢者健康スポーツ論	2～4	2	

目					
学科専門科目	選択	障がい者健康スポーツ論	2～4	2	
学科専門科目	選択	障がい者論	2～4	2	
学科専門科目	選択	高齢者健康スポーツ指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	障がい者健康スポーツ指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	スポーツビジネス論	2～4	2	
学科専門科目	選択	医学概論	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ応急処置演習	2～4	2	
学科専門科目	選択	免疫と薬理	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際健康スポーツ交流A	1	2	
学科専門科目	選択	国際健康スポーツ交流B	1	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情A	1	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情B	1	2	
学科専門科目	選択	エアロビクス実習	1～4	1	
学科専門科目	選択	トレーニング概論	1～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツボランティア活動A	1～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツボランティア活動B	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツとコミュニケーション	2～4	2	
学科専門科目	選択	リハビリテーション論	2～4	2	
学科専門科目	選択	測定評価	2～4	2	
学科専門科目	選択	エアロビクス指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	アクアビクス指導法	2～4	1	
学科専門科目	選択	ヘルスプロモーション論	1	2	
学科専門科目	選択	生活習慣と健康	1	2	
学科専門科目	選択	運動傷害と予防	2～4	2	

目					
学科専門科目	選択	トレーニングプログラミング論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツマネジメント	2～4	2	
学科専門科目	選択	運動疫学	2～4	2	
学科専門科目	選択	アスレティックトレーニング論	2～4	2	
学科専門科目	選択	労働衛生Ⅰ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働衛生Ⅱ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働基準法	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働安全衛生法Ⅰ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働安全衛生法Ⅱ	3～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツインターンシップA	2～4	2	
学科専門科目	選択	健康スポーツインターンシップB	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ情報分析論	2～4	2	
学科専門科目	選択	バイオメカニクス	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ経済論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツメディア論	2～4	2	
学科専門科目	選択	老年学	2～4	2	
学科専門科目	選択	子ども学	2～4	2	
学科専門科目	選択	外国語文献講読	1～4	2	
学科専門科目	選択	日本文化と武道	1～4	2	
学科専門科目	選択	健康産業施設等現場実習	4	1	
学科専門科目	選択	卒業論文	4	4	
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（水泳）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（ダンス）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（柔道）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（剣道）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（サッカー）	2	1	卒業要件外

教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（バレーボール）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（バスケットボール）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（テニス）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（バドミントン）	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（陸上）	3	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法（器械運動）	3	1	卒業要件外
学科専門科目	選択	運動学（運動方法学を含む）	1	2	
教職科目	選択	養護概説	1	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅰ	1	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅱ	2	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅲ	2	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学実習	3	2	卒業要件外
学科専門科目	選択	精神保健Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	精神保健Ⅱ	1	2	

(2)－4 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 専門科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	選択	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	選択	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学科専門科目	必修	情報リテラシーⅡ	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン学概論	1	2	
学科専門科目	必修	ユニバーサルデザイン概論	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅰ	1	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅱ	1	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅲ	2	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン総合演習	2	3	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅠA	3	3	空間デザインコースのみ必修他コースでは選択
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅡA	4	2	

目					
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅠA	3	3	生活環境デザインコースのみ必修 他コースでは選択
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	卒業研究	4	2	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅠA	3	3	プロダクトデザインコースのみ必修 他コースでは選択
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	卒業研究	4	2	
学科専門科目	選択	製品と情報のUD	1	2	
学科専門科目	選択	人間工学	2	2	
学科専門科目	必修	CAD演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	建築歴史意匠A	1	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザイン基礎	1	2	
学科専門科目	選択	発達と障害	1	2	
学科専門科目	選択	生活支援デザイン概論	1	2	
学科専門科目	選択	材料・素材一般	1	2	
学科専門科目	選択	建築生産	1	2	
学科専門科目	選択	色彩論	1	2	
学科専門科目	選択	マーケティング	2	2	
学科専門科目	選択	CAD演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	住居計画	2	2	
学科専門科目	選択	建築・都市法規	2	2	

目					
学科専門科目	選択	建築歴史意匠 B	2	2	
学科専門科目	選択	生活空間計画	2	2	
学科専門科目	選択	コンピュータ・グラフィックス	2	2	
学科専門科目	選択	産業とプロダクトデザイン	3	2	
学科専門科目	選択	福祉デザイン工学概論	2	2	
学科専門科目	選択	構造力学	2	2	
学科専門科目	選択	都市・まちのデザイン	1	2	
学科専門科目	選択	道具の歴史	1	2	
学科専門科目	選択	デザイン工学基礎	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン工学応用	2	2	
学科専門科目	選択	ヒューマンインターフェース	2	2	
学科専門科目	選択	インテリアデザイン	2	2	
学科専門科目	選択	環境計画	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン思考法	2	2	
学科専門科目	選択	まちづくり	2	2	
学科専門科目	選択	認知科学	3～4	2	
学科専門科目	選択	ランドスケープデザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	デザイン特別講義	3～4	2	
学科専門科目	選択	安全工学	3～4	2	
学科専門科目	選択	調査分析のデザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	建築とまちのUD	3～4	2	
学科専門科目	選択	情報メディアデザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップ A	3～4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップ B	3～4	2	

目					
学科専門科目	選択	インターンシップC	3～4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップD	3～4	2	
学科専門科目	選択	建築空間構成論	3～4	2	
学科専門科目	選択	建築設計論	3～4	2	
学科専門科目	選択	設備計画	3～4	2	
学科専門科目	選択	材料力学	3～4	2	
学科専門科目	選択	構法計画	3～4	2	
学科専門科目	選択	木造住宅設計論	3～4	2	
学科専門科目	選択	構法計画演習A	3～4	1	
学科専門科目	選択	構法計画演習B	3～4	1	
学科専門科目	選択	都市計画論	3～4	2	
学科専門科目	選択	福祉デザイン工学各論	3～4	2	
学科専門科目	選択	リハビリテーション工学	3～4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉建築計画	3～4	2	
学科専門科目	選択	支援技術とデザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	福祉住環境コーディネータ論	3～4	2	
学科専門科目	選択	こども環境論	2	2	
学科専門科目	選択	情報デザインI	2	2	
学科専門科目	選択	情報デザインII	3～4	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザインI	3～4	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザインII	3～4	2	
学科専門科目	選択	グラフィックデザイン論	3～4	2	
学科専門科目	選択	メカトロニクス・デザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	表現手法	3～4	2	



目					
学科専門科目	選択	国際文化事情 A	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情 B	1～4	2	
学科専門科目	選択	I n t e r n a t i o n a l P r a c t i c e s	1～4	2	
教職科目	選択	職業指導 I	3～4	2	卒業要件外
教職科目	選択	職業指導 II	3～4	2	卒業要件外

(3)－1 ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻、子ども支援学専攻 他学科開放科目

学部	開講学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	解剖学	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	人体組織学	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	公衆衛生学	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	エアロビクス基礎実習	1	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康教育学	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康科学概論	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツビジネス論	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	トレーニング概論	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	免疫と薬理	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	国際健康スポーツ交流 A	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	エアロビクス実習	1～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康スポーツボランティア活動 A	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツとコミュニケーション	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ応急処置演習	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動生理学	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ生理学	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	コーチング概論	2～4	2	

学部					
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	レクリエーション実習	2	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	機能解剖学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ医学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	トレーニング基礎実習	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ社会学	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ人類学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ史	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	レクリエーション論	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	小児保健（含学校保健）	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	高齢者健康スポーツ論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	障がい者健康スポーツ論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	発育・発達・加齢論	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	健康文化論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	アスレティックトレーニング 論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	運動傷害と予防	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	リハビリテーション論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	エアロビクス指導法	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツマネジメント	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	測定評価	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	アクアビクス指導法	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	運動疫学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	ヘルスプロモーション論	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	トレーニングプログラミング 論	2～4	2	
ライフデザイン	健康スポーツ学科	生涯スポーツ論	1	2	

学部					
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ文化論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	子ども健康スポーツ論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	高齢者健康スポーツ指導法	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツと栄養	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ心理学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	健康政策と行政	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	地域スポーツクラブ論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ政策論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	身体文化論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	子ども健康スポーツ指導法	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	障がい者論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	労働衛生 I	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	労働衛生 II	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	労働安全衛生法 I	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	労働安全衛生法 II	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	労働基準法	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツトレーニング指導法	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	障がい者健康スポーツ指導法	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	運動処方	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	運動負荷試験	3～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	バイオメカニクス実習	2	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	健康スポーツインターンシ ップ A	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	生活習慣と健康	1	2	
ライフデザイン	健康スポーツ学科	スポーツ経済論	2～4	2	

学部					
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツメディア論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ情報分析論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	バイオメカニクス	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	健康栄養論	2	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	日本文化と武道	1～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	老年学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	子ども学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	国際健康スポーツ交流B	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	外国語文献講読	1～4	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	人間工学	2	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	1	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	3	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3～4	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3～4	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3～4	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3～4	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論	3～4	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	こども環境論	2	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠A	1	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	ヒューマンインターフェース	2	2	
ライフデザイン 学部	人間環境デザイン学科	プロダクトデザイン基礎	1	2	
ライフデザイン	人間環境デザイン学科	I n t e r n a t i o n a l	1～4	2	

学部		D e s i g n P r a c t i c e s			
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	支援技術とデザイン	3～4	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科生活支援学専攻	I n t r o d u c t i o n t o S o c i a l W o r k	3	2	

(3)ー2 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	生活支援学科	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	児童・家庭福祉	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉調査の基礎	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	高齢者福祉	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障Ⅰ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障Ⅱ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	障害者福祉	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	国際児童福祉	1～4	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	I n t r o d u c t i o n t o S o c i a l W o r k	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	1	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	3	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3～4	2	

学部					
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	こども環境論	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠A	1	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	ヒューマンインターフェース	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	プロダクトデザイン基礎	1	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	I n t e r n a t i o n a l D e s i g n P r a c t i c e s	1～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	支援技術とデザイン	3～4	2	

(3)ー3 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	生活支援学科	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	児童・家庭福祉	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉調査の基礎	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	高齢者福祉	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	障害者福祉	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障Ⅰ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障Ⅱ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	国際児童福祉	1～4	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	I n t r o d u c t i o n t o S o c i a l W o r k	3～4	2	

ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	解剖学	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	人体組織学	1～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツビジネス論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	医学概論	1～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	運動生理学	2	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ生理学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ社会学	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	発育・発達・加齢論	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	高齢者健康スポーツ論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	障がい者健康スポーツ論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	リハビリテーション論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	生涯スポーツ論	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	生活習慣と健康	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ経済論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツメディア論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	スポーツ情報分析論	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	バイオメカニクス	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	健康栄養論	2	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	日本文化と武道	1～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	老年学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	子ども学	2～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	国際健康スポーツ交流B	1	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	外国語文献講読	1～4	2	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	障がい者論	2～4	2	

ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	障がい者健康スポーツ指導法	2～4	1	
ライフデザイン 学部	健康スポーツ学科	健康教育学	2～4	2	

(4)ライフデザイン学部 教職科目 (卒業要件外)

生活支援学科生活支援学専攻

なし

生活支援学科子ども支援学専攻

なし

健康スポーツ学科

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育制度論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育課程総論	1	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科教育論Ⅰ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科教育論Ⅱ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科指導法Ⅰ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健科指導法Ⅱ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科教育法Ⅰ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科教育法Ⅱ	2	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科指導法Ⅰ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	保健体育科指導法Ⅱ	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育課程総論 (養護教諭)	2	2	



教育の基礎的理解に関する科目	道徳教育論	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目	生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育相談	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目	養護実習基礎演習	3	2	「養護」のみ
教育の基礎的理解に関する科目	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）	4	5	
教育の基礎的理解に関する科目	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	
教育の基礎的理解に関する科目	養護実習（事前・事後指導を含む）	4	5	
教育の基礎的理解に関する科目	教職実践演習（中・高）	4	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教職実践演習（養護教諭）	4	2	
大学が独自に設定する科目	教職インターンシップA	3	2	
大学が独自に設定する科目	教職インターンシップB	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	

#### 人間環境デザイン学科

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育制度論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育課程総論	1	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	工芸科指導法Ⅰ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	工芸科指導法Ⅱ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	工業科指導法Ⅰ	3	2	
教科及び教科の指導法に関する科目	工業科指導法Ⅱ	3	2	

る科目				
教育の基礎的理解に関する科目	教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目	生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育相談	2	2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	
教育の基礎的理解に関する科目	教職実践演習（中・高）	4	2	
教育の基礎的理解に関する科目	道徳教育論	3	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育基礎論	1	2	
教育の基礎的理解に関する科目等	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	

別表第4 卒業に必要な単位等（第5条第1項関係）

学科および専攻	単位数
生活支援学科生活支援学専攻	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想で必修2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位を含み、基盤教育科目で18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門科目で、学科専門科目を70単位以上（うち必修科目20単位、選択科目50単位以上）修得すること。</p>
生活支援学科子ども支援学専攻	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想で必修2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位を含み、基盤教育科目で18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門科目で、学科専門科目から66単位以上（うち必修科目18単位、選択必修科目4単位または6単位、選択科目44単位以上）を修得すること。</p>
健康スポーツ学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想で必修2単位以上、国際人の形成の語学の外国語科目必修8単位、健康・スポーツ科学で選択必修2単位以上を含み、22単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門科目で、学科専門科目を77単位以上（うち必修科目32単位、選択必修科目Aのうちから2単位、選択必修科目Bのうちから1単位、選択科目30単位以上）修得すること。</p>
人間環境デザイン学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目で、哲学・思想で必修2単位以上、国際人の</p>

	<p>形成の語学の外国語科目必修8単位を含み、18単位以上を修得すること。また、外国人留学生入試入学者は、上記の他に、国際人の形成の語学の留学生対象科目必修6単位を修得すること。</p> <p>3) 専門科目で、学科専門科目を77単位以上(うち必修科目24単位、コース別必修科目10単位、選択科目43単位以上)修得すること。</p>
--	--

別表第5 4年次の卒業関係科目の履修条件(第5条第2項関係)

学科および専攻	単位数
人間環境デザイン学科	<p>(1) 「空間デザイン演習ⅡA」、「生活環境デザイン演習ⅡA」、「プロダクトデザイン演習ⅡA」、「空間デザイン演習ⅡB」、「生活環境デザイン演習ⅡB」、「プロダクトデザイン演習ⅡB」を履修するためには、下記を満たさなければならない。</p> <p>① 「情報リテラシーⅠ」、「情報リテラシーⅡ」、「人間環境デザイン学概論」、「ユニバーサルデザイン概論」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅰ」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅱ」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅲ」、「人間環境デザイン総合演習」、「CAD演習Ⅰ」の単位を全て修得していること。</p> <p>② 卒業要件となる科目を100単位以上を修得すること。卒業要件となる科目は、別表第3に定める基盤教育科目、専門科目とする。なお、他学科開放科目も含める。</p> <p>(2) 卒業研究を履修するためには、以下のいずれかの単位を修得していること。「空間デザイン演習ⅡA」、「生活環境デザイン演習ⅡA」、「プロダクトデザイン演習ⅡA」、「空間デザイン演習ⅡB」、「生活環境デザイン演習ⅡB」、「プロダクトデザイン演習ⅡB」</p>

別表第6 教育職員免許状取得のための授業科目及び単位数(第8条第1項第1号関係)  
ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

(1) 幼稚園教諭1種免許状

① 領域及び保育内容の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
領域及び保育内容の指導法に関する科目	16単位	子どもと健康	1	1	必修
		子どもと人間関係	1	1	必修
		子どもと環境	2	1	必修
		子どもと言葉	1	1	必修
		子どもと表現Ⅰ	1	1	必修
		子どもと表現Ⅱ	1	1	必修
		保育内容総論	1	1	必修

		多文化共生保育・教育	3	1	必修
		保育指導法	3	2	必修
		保育内容の指導法（健康）	2	1	必修
		保育内容の指導法（人間関係）	2	1	必修
		保育内容の指導法（環境）	3	1	必修
		保育内容の指導法（言葉）	2	1	必修
		保育内容の指導法（音楽表現）	3	1	必修
		保育内容の指導法（造形表現）	2	1	必修
		体育あそびの実践	2～4	2	
		音楽あそびの実践	2～4	2	
		造形あそびの実践	2～4	2	
小計	16単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	14単位	教育基礎論	1	2	必修
		保育者論	2	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		幼児教育論	1	2	必修
		教育心理学	2	1	必修
		発達心理学	1	2	必修
		特別支援教育・保育Ⅰ	1	1	必修
		特別支援教育・保育Ⅱ	2	1	
		保育カリキュラム論	2	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	5単位	幼児教育方法（情報機器の活動を含む）	3	2	必修
		子どもの理解と援助	3	1	必修
		保育・教育相談	3	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅲ（事前・事後指導を含む）	3	5	必修
		保育・教職実践演習	4	2	必修
小計	26単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	保育原理	1	2	
		子ども家庭支援の心理学	3	2	
		子どもと文学	1～4	2	
		国語表現法	1～4	2	

		生活と総合学習	1～4	2	
		子どもの権利と教育	1～4	2	
		子育て支援実践	1～4	1	
		多文化共生保育・教育実践	1～4	1	
小計	—	—	—	—	

合計	51単位	①、②、③の合計で51単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	これら8科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢBから必ず1単位を修得すること。
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
		健康教育学	2～4	2	
		生涯スポーツ論	1	2	
外国語コミュニケーション	2単位	基礎英語演習Ⅰ	1	1	選択必修
		基礎英語演習Ⅱ	1	1	選択必修
		応用英語演習Ⅰ	2	1	選択必修
		応用英語演習Ⅱ	2	1	選択必修
数理、データ活用及び人口知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1～4	2	選択必修

ライフデザイン学部健康スポーツ学科

(1) 中学校教諭1種免許状(保健)

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
-------------	---------	--------	------	-----	------

に定める科目区分					
生理学・栄養学	10単位	生理学	1	2	必修
		生化学	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	選択必修
		運動生理学	2	2	必修
		スポーツ生理学	2～4	2	必修
		運動生理学実習	2	1	選択必修
		測定評価	2～4	2	選択必修
		スポーツと栄養	2～4	2	選択必修
		生活と栄養	1～3	2	必修
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1	2	必修
		運動疫学	2～4	2	選択必修
		公衆衛生学実習	2	1	選択必修
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	6単位	小児保健（含学校保健）	2～3	2	必修
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	選択必修
		発育・発達・加齢論	1	2	選択必修
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8単位	保健科教育論Ⅰ	2	2	必修
		保健科教育論Ⅱ	2	2	必修
		保健科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	28単位	—	—	—	—

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～4	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	道徳教育論	3	2	必修
		特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修

		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）	4	5	必修
		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	人権と生活	1～4	2	
		教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 中学校教諭1種免許状（保健体育）

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
体育実技	7単位	スポーツ実習・指導法（水泳）	2	1	必修
		スポーツ実習・指導法（陸上）	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法（器械運動）	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法（サッカー）	2	1	いずれか 2科目 選択必修
		スポーツ実習・指導法（バレーボール）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（テニス）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（バドミントン）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（バスケットボール）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（剣道）	2	1	いずれか 1科目 選択必修
		スポーツ実習・指導法（柔道）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（ダンス）	2	1	いずれか 1科目 選択必修
		エアロビクス指導法	2～3	1	
		アクアビクス指導法	2～4	1	

		レクリエーション実習	2	1	
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	4単位	スポーツ心理学	2～3	2	必修
		運動学（運動方法学を含む）	1	2	必修
生理学（運動生理学を含む。）	10単位	生理学	1	2	必修
		生化学	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学	2	2	必修
		スポーツ生理学	2～4	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		測定評価	2～4	2	
		スポーツと栄養	2～4	2	
		生活と栄養	1～3	2	必修
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	6単位	小児保健（含学校保健）	2～3	2	必修
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
		発育・発達・加齢論	1	2	
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8単位	保健体育科教育法Ⅰ	2	2	必修
		保健体育科教育法Ⅱ	2	2	必修
		保健体育科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健体育科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	37単位	—	—	—	

## ②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～4	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	道徳教育論	3	2	必修
		特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	7単位	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）	4	5	必修



		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	人権と生活	1～4	2	
		教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	66単位	①、②、③の合計で66単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(3)高等学校教諭1種免許状（保健）

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	14単位	生理学	1	2	必修
		生化学	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学	2	2	必修
		スポーツ生理学	2～4	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		スポーツと栄養	2～4	2	
		測定評価	2～4	2	
		生活と栄養	1～3	2	必修
		解剖学	1	2	必修
		人体組織学	1～3	2	必修
		解剖学実習	2	1	
衛生学・公衆衛生学	2単位	公衆衛生学	1	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	6単位	小児保健（含学校保健）	2～3	2	必修
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
		発育・発達・加齢論	1	2	
各教科の指導法（情報）	4単位	危機管理と救急法	1～3	2	必修
		保健科教育論Ⅰ	2	2	

通信技術の活用を含む。)		保健科教育論Ⅱ	2	2	
		保健科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	26単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～4	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）※	4	5	いずれか 1科目 選択必修
		教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	
		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	25単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	人権と生活	1～4	2	
		教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(4)高等学校教諭1種免許状（保健体育）

①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
体育実技	7 単位	スポーツ実習・指導法（水泳）	2	1	必修
		スポーツ実習・指導法（陸上）	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法（器械運動）	3	1	必修
		スポーツ実習・指導法（サッカー）	2	1	いずれか 2科目 選択必修
		スポーツ実習・指導法（バレーボール）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（テニス）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（バドミントン）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（バスケットボール）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（剣道）	2	1	
		スポーツ実習・指導法（柔道）	2	1	いずれか 1科目 選択必修
		スポーツ実習・指導法（ダンス）	2	1	いずれか 1科目 選択必修
		エアロビクス指導法	2～3	1	
		アクアビクス指導法	2～4	1	
		レクリエーション実習	2	1	
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	4 単位	スポーツ心理学	2～3	2	必修
		運動学（運動方法学を含む）	1	2	必修
生理学（運動生理学を含む。）	14単位	生理学	1	2	必修
		生化学	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学	2	2	必修
		スポーツ生理学	2～4	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		測定評価	2～4	2	
		スポーツと栄養	2～4	2	
		生活と栄養	1～3	2	必修
		解剖学	1	2	必修
		人体組織学	1～3	2	必修
		解剖学実習	2	1	
機能解剖学	2～4	2			
衛生学・公衆衛生学	2 単位	公衆衛生学	1	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
学校保健（小児保健、精神保健、学校安	6 単位	小児保健（含学校保健）	2～3	2	必修
		精神保健Ⅰ	1	2	必修

全及び救急処置を含む。)		精神保健Ⅱ	1	2	
		発育・発達・加齢論	1	2	
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。)	4単位	保健体育科教育法Ⅰ	2	2	
		保健体育科教育法Ⅱ	2	2	
		保健体育科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健体育科指導法Ⅱ	3	2	必修
小計	37単位	—	—	—	

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～4	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む） ※	4	5	いずれか1科目 選択必修
		教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	
		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	25単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	人権と生活	1～4	2	
		教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	62単位	①、②、③の合計で62単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

## (5) 養護教諭1種免許状

## ① 養護に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4 単位	公衆衛生学	1	2	必修
		運動疫学	2～4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
		医学概論	1～3	2	必修
学校保健	2 単位	小児保健 (含学校保健)	2～3	2	必修
		発育・発達・加齢論	1	2	
養護概説	2 単位	養護概説	1	2	必修
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2 単位	健康科学概論	1	2	必修
		ヘルスプロモーション論	1	2	
栄養学 (食品学を含む。)	2 単位	スポーツと栄養	2～4	2	
		生活と栄養	1～3	2	必修
解剖学・生理学	12 単位	解剖学	1	2	必修
		人体組織学	1～3	2	必修
		解剖学実習	2	1	
		生理学	1	2	必修
		生化学	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学	2	2	必修
		スポーツ生理学	2～4	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		機能解剖学	2～4	2	
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2 単位	免疫と薬理	1～3	2	必修
精神保健	2 単位	精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10 単位	看護学Ⅰ	1	2	必修
		看護学Ⅱ	2	2	必修
		看護学Ⅲ	2	2	必修
		看護学実習	3	2	必修
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
小計	38 単位	—	—	—	

## ② 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12 単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修

		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～4	2	必修
		教育課程総論（養護教諭）	2	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修
		道徳教育論	3	2	必修
		教育方法の理論と実践(情報通信技術を含む)	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	9単位	養護実習（事前・事後指導を含む）	4	5	必修
		養護実習基礎演習	3	2	必修
		教職実践演習（養護教諭）	4	2	必修
小計	31単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	人権と生活	1～4	2	
		教職インターンシップA	3	2	
		教職インターンシップB	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	69単位	①、②、③の合計で69単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	これら8科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢBから必ず1単位を修得すること。
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
		健康教育学	2～4	2	
		生涯スポーツ論	1	2	
外国語コミュニケーション	2単位	基礎英語演習Ⅰ	1	1	選択必修
		基礎英語演習Ⅱ	1	1	選択必修
		応用英語演習Ⅰ	2	1	選択必修
		応用英語演習Ⅱ	2	1	選択必修

数理、データ活用及び人口知能に関する科目又は情報機器の操作	2 単位	情報リテラシー I	1	2	選択必修
		情報リテラシー II	1～4	2	選択必修

ライフデザイン学部人間環境デザイン学科

(1) 高等学校教諭 1 種免許状 (工業)

① 教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
工業の関係科目	4 単位	人間環境デザイン基礎演習 I	1	3	選択必修
		人間環境デザイン基礎演習 III	2	3	選択必修
		人間工学	2	2	必修
		都市・まちのデザイン	1	2	選択必修
		建築生産	1	2	選択必修
		材料・素材一般	1	2	選択必修
		住居計画	2	2	選択必修
		生活空間計画	2	2	選択必修
		コンピュータ・グラフィックス	2	2	選択必修
		環境計画	2	2	選択必修
		ヒューマンインターフェース	2	2	選択必修
		安全工学	3～4	2	必修
		空間デザイン演習 I A	3	3	選択必修
		空間デザイン演習 I B	3	3	選択必修
		空間デザイン演習 II A	4	2	選択必修
		空間デザイン演習 II B	4	2	選択必修
		構造力学	2	2	選択必修
		建築空間構成論	3～4	2	選択必修
		構法計画	3～4	2	選択必修
		構法計画演習 A	3～4	1	選択必修
		ランドスケープデザイン	3～4	2	選択必修
		設備計画	3～4	2	選択必修
		材料力学	3～4	2	選択必修
		生活環境デザイン演習 I A	3	3	選択必修
		生活環境デザイン演習 I B	3	3	選択必修
		生活環境デザイン演習 II A	4	2	選択必修
		生活環境デザイン演習 II B	4	2	選択必修
		リハビリテーション工学	3～4	2	選択必修
		福祉デザイン工学概論	2	2	選択必修
		福祉デザイン工学各論	3～4	2	選択必修
職業指導	4 単位	職業指導 I	3～4	2	必修
		職業指導 II	3～4	2	必修

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4単位	工業科指導法Ⅰ	3	2	※
		工業科指導法Ⅱ	3	2	※
合計	24単位	—	—	—	

※免許法施行規則第5条表備考6により、工業の普通免許状の授与を受ける場合は、当分の間、各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の全部又は一部の単位は、  
当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができる。

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	※
		教職概論	1	2	※
		教育制度論	1	2	※
		教育心理学	1	2	※
		特別支援教育基礎論	1～4	2	※
		教育課程総論	1	2	※
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	※
		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	※
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	※
		教育相談	2	2	※
教育実践に関する科目	5単位	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	※
		教職実践演習（中・高）	4	2	※
小計	25単位	—	—	—	

※免許法施行規則第5条表備考6より、工業の普通免許状の授与を受ける場合は、当分の間、各教科の指導法に関する科目、教諭の教育の基礎的理解に関する科目等の全部又は一部の単位は、  
当該免許状に係る教科に関する専門的事項に関する科目について修得することができる。

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2)高等学校教諭1種免許状（工芸）



①教科及び教科の指導法に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
図法・製図	2単位	人間環境デザイン基礎演習Ⅱ	1	3	必修
		CAD演習Ⅰ	1	2	選択必修
		CAD演習Ⅱ	2	2	選択必修
デザイン	2単位	人間環境デザイン総合演習	2	3	必修
		製品と情報のUD	1	2	選択必修
		建築歴史意匠A	1	2	選択必修
		建築歴史意匠B	2	2	選択必修
		建築設計論	3～4	2	選択必修
		情報デザインⅠ	2	2	選択必修
		情報デザインⅡ	3～4	2	選択必修
情報メディアデザイン	3～4	2	選択必修		
工芸制作（プロダクト制作を含む。）	2単位	プロダクトデザイン基礎	1	2	必修
		産業とプロダクトデザイン	3	2	選択必修
		プロダクトデザインⅠ	3～4	2	選択必修
		プロダクトデザインⅡ	3～4	2	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅡB	4	2	選択必修
工芸理論・デザイン理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。）	2単位	人間環境デザイン学概論	1	2	選択必修
		ユニバーサルデザイン概論	1	2	選択必修
		美術一般	1～3	2	必修
		道具の歴史	1	2	選択必修
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4単位	工芸科指導法Ⅰ	3	2	必修
		工芸科指導法Ⅱ	3	2	必修
合計	24単位	—	—	—	—

②教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	教育基礎論	1	2	必修
		教職概論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		特別支援教育基礎論	1～4	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び	8単位	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	2	必修

生徒指導、教育相談等に関する科目		教育方法の理論と実践（情報通信技術を含む）	2	2	必修
		生徒指導論（進路指導論を含む）	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実践に関する科目	5 単位	教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）	4	3	必修
		教職実践演習（中・高）	4	2	必修
小計	25単位	—	—	—	

③大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
大学が独自に設定する科目	—	道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2 単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2 単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	これら8科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢBから必ず1単位を修得すること。
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
		健康教育学	2～4	2	
外国語コミュニケーション	2 単位	基礎英語演習Ⅰ	1	1	選択必修
		基礎英語演習Ⅱ	1	1	選択必修
		応用英語演習Ⅰ	2	1	選択必修
		応用英語演習Ⅱ	2	1	選択必修
数理、データ活用及び人口知能に関する科目又は情報機器の操作	2 単位	情報リテラシーⅠ	1	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1～4	2	選択必修

別表第7 社会福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第2号関係）

ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻、子ども支援学専攻社会福祉士コース

指定科目	本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
医学概論	医学概論	1	2	必修
心理学と心理的支援	心理学	1～4	2	必修
社会学と社会システム	社会学	1～4	2	必修
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	必修
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	1	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	1	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ(専門)	2	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ(専門)	3	2	必修
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	必修
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	必修
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2～3	2	必修
社会保障	社会保障Ⅰ	2～3	2	必修
	社会保障Ⅱ	2～3	2	必修
高齢者福祉	高齢者福祉	1	2	必修
障害者福祉	障害者福祉	1	2	必修
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	1	2	必修
貧困に対する支援	貧困に対する支援	2～3	2	必修
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	2	必修
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2～3	2	必修
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2～3	2	必修
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	必修
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅱ(専門)	2	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門)	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅳ(専門)	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅴ(専門)	4	2	必修
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	1	必修
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2	必修
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4	必修

別表第8 精神保健福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数(第8条第3号関係)

指定科目	本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
医学概論	医学概論	1	2	必修
心理学と心理的支援	心理学	1～4	2	必修
社会学と社会システム	社会学	1～4	2	必修
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	必修
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～3	2	必修
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～3	2	必修
社会保障	社会保障Ⅰ	2～3	2	必修
	社会保障Ⅱ	2～3	2	必修
障害者福祉	障害者福祉	1	2	必修
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2～3	2	必修
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2～3	2	必修
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	1	2	必修
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	2	2	必修
	精神医学と精神医療Ⅱ	2	2	必修
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	1	2	必修
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	1	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	必修
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2	必修
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ(専門)(精神)	2	2	必修
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ(専門)(精神)	2	2	必修
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	3	2	必修
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	3	2	必修
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	必修
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅰ(専門)(精神)	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ(専門)(精神)	3	2	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅲ(専門)(精神)	4	2	必修
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ(精神)	3	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(精神)	4	1	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	4	1	必修
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習(精神)	4	4	必修

別表第9 介護福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数(第8条第4号関係)

ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻介護福祉士コース

社会福祉士介護福祉士学校指定規則に定める教育の内容		本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
領域	教育内容				
人間と社会	人間の尊厳と自立	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修

	人間関係とコミュニケーション	心理学	1～4	2	必修
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ（専門）	2	2	必修
	社会の理解	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	1	2	必修
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	必修
	人間と社会に関する選択科目	社会学	1～4	2	必修
		社会保障Ⅰ	2～3	2	必修
		社会保障Ⅱ	2～3	2	必修
	介護の基本	介護福祉援助概論Ⅰ	1	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅱ	2	2	必修
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		1	2	必修	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		1	2	必修	
ケアワーク論		2	2	必修	
福祉サービスの組織と経営		2～3	2	必修	
コミュニケーション技術	介護コミュニケーション技術Ⅰ	2	2	必修	
	介護コミュニケーション技術Ⅱ	2	2	必修	
生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	1	1	必修	
	生活支援技術Ⅱ	1	1	必修	
	生活支援技術Ⅲ	2	1	必修	
	生活支援技術Ⅳ	2	1	必修	
	生活支援技術Ⅴ	2	1	必修	
	生活支援技術Ⅵ	2	1	必修	
	生活支援技術Ⅶ	3	1	必修	
	生活支援技術Ⅷ	3	1	必修	
	生活支援技術Ⅸ	4	1	必修	
	生活支援技術Ⅹ	3	1	必修	
介護過程	介護過程Ⅰ	1	1	必修	
	介護過程Ⅱ	2	1	必修	
	介護過程Ⅲ	3	1	必修	
	介護過程Ⅳ	4	1	必修	
	介護過程の応用	3～4	1	必修	
介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	1	1	必修	
	介護総合演習Ⅱ	2	1	必修	
	介護総合演習Ⅲ	2	1	必修	
	介護総合演習Ⅳ	3	1	必修	
介護実習	介護福祉実習Ⅰ	1	2	必修	
	介護福祉実習Ⅱ	2	3	必修	
	介護福祉実習Ⅲ	3	3	必修	

介護

		介護福祉実習Ⅳ	4	2	必修
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	高齢者福祉	1	2	必修
		発達と老化の理解	1～4	2	必修
	認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	1～4	2	必修
		認知症の理解Ⅱ	1～4	2	必修
	障害の理解	障害者福祉	1	2	必修
		権利擁護を支える法制度	2～3	2	必修
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	1～4	2	必修
		こころとからだのしくみⅡ	1～4	2	必修
こころとからだのしくみⅢ		1～4	2	必修	
医学概論		1	2	必修	
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアⅠ	3	2	必修
		医療的ケアⅡ	3	2	必修
		医療的ケアⅢ	4	2	必修
—	—	実習指導の理論と方法	3～4	2	必修

別表第10 保育士資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第10号関係）

別表第10 保育士資格取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

①必修科目

児童福祉法施行規則の指定保育士養成施設の授業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	1	2	必修
	教育原理	教育基礎論	1	2	必修
	子ども家庭福祉	児童・家庭福祉	1	2	必修
	社会福祉	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	必修
	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	4	2	必修
	社会的養護Ⅰ	社会的養護	1	2	必修
	保育者論	保育者論	2	2	必修
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	発達心理学	1	2	必修
	子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	3	2	必修
	子どもの理解と援助	子どもの理解と援助	3	1	必修
	子どもの保健	子どもの保健	2	2	必修
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養（実習含む）	1	2	必修
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	保育カリキュラム論	2	2	必修
	保育内容総論	保育内容総論	1	1	必修
	保育内容演習	保育内容の指導法（言葉）	2	1	必修
		保育内容の指導法（環境）	3	1	必修
		保育内容の指導法（健康）	2	1	必修
保育内容の指導法（人		2	1	必修	

		間関係)			
		保育内容の指導法（音楽表現）	3	1	必修
		保育内容の指導法（造形表現）	2	1	必修
	保育内容の理解と方法	子どもと健康	1	1	必修
		子どもと人間関係	1	1	必修
		子どもと環境	2	1	必修
		子どもと言葉	1	1	必修
		子どもと表現Ⅰ	1	1	必修
		子どもと表現Ⅱ	1	1	必修
	乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	2	2	必修
	乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	4	1	必修
	子どもの健康と安全	子どもの健康と安全	3	1	必修
	障害児保育	特別支援教育・保育Ⅰ	1	1	必修
		特別支援教育・保育Ⅱ	2	1	必修
社会的養護Ⅱ	社会的養護内容	2	1	必修	
子育て支援	子育て支援	4	1	必修	
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習ⅠA（施設）	2	2	必修
		保育実習ⅠB（保育所）	3	2	必修
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導ⅠA（施設）	2	1	必修
		保育実習指導ⅠB（保育所）	3	1	必修
総合演習	保育実践演習	4	2	必修	

## ②選択必修科目

児童福祉法施行規則の指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
保育の本質・目的に関する科目	教育制度論		1	2	選択必修
	子どもソーシャルワーク		3	2	選択必修
	子どもの権利と教育		1～4	2	選択必修
	国際児童福祉		1～4	2	選択必修
保育の対象の理解に関する科目	保育・教育相談		3	2	選択必修
	多文化共生保育・教育		3	1	選択必修
	発達心理学専門演習		2～4	2	選択必修
保育の内容・方法に関する科目	保育指導法		3	2	選択必修
	多文化共生保育・教育実践		1～4	1	選択必修
	子育て支援実践		1～4	1	選択必修
	音楽表現専門演習		2～4	2	選択必修
	音楽あそびの実践		2～4	2	選択必修

		体育あそびの実践	2～4	2	選択必修
		造形あそびの実践	2～4	2	選択必修
		保育音楽表現技術	2～4	2	選択必修
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	保育実習Ⅱ（保育所）	4	2	Ⅱ、Ⅲいずれかを選択必修
		保育実習Ⅲ（施設）	4	2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	保育実習指導Ⅱ（保育所）	4	1	
		保育実習指導Ⅲ（施設）	4	1	

※上記②表から、「保育実習」3単位を含み、9単位を修得すること。

※上記②表の「保育実習」は、「保育実習Ⅱおよび保育実習指導Ⅱ」もしくは「保育実習Ⅲおよび保育実習指導Ⅲ」のいずれか選択必修

③一般教養的科目

児童福祉法施行規則の指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
教養科目	外国語、体育以外の科目	文学	1～4	2	6単位 選択必修
		文章読解	1～4	2	
		国語表現法	1～4	2	
		口頭表現法	1～4	2	
		レポート・論文のまとめ方	1～4	2	
		音楽一般	1～4	2	
		美術一般	1～4	2	
		哲学	1～4	2	
		心理学	1～4	2	
		日本国憲法	1～4	2	
		社会学	1～4	2	
		学校と地域（学校安全を含む）	1～4	2	
	外国語	基礎英語演習Ⅰ	1	1	2単位 選択必修
		基礎英語演習Ⅱ	1	1	
		応用英語演習Ⅰ	2	1	
		応用英語演習Ⅱ	2	1	
	体育に関する実技	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	1単位 選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
スポーツ健康科学実技ⅢA		1～4	1		



体育に関する講義	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	2単位 選択必修
	危機管理と救急法	1～4	2	
	健康教育学	2～4	2	
	生涯スポーツ論	1	2	

別表第11 社会福祉主事資格取得のための授業科目及び単位数（第8条第6号関係）

ライフデザイン学部

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目名	単位数	履修方法
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	
社会保障論	社会保障Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会保障Ⅱ	2	
児童福祉論	児童・家庭福祉	2	
保育理論	保育原理	2	
身体障害者福祉論	障害者福祉	2	
精神障害者保健福祉論	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	精神保健福祉の原理Ⅱ	2	
老人福祉論	高齢者福祉	2	
地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	
法学	法学	2	
経済学	経済学	2	
心理学	心理学	2	
社会学	社会学	2	
公衆衛生学	公衆衛生学	2	
医学一般	医学概論	2	
リハビリテーション論	リハビリテーション論	2	
看護学	看護学Ⅰ	2	
	看護学Ⅱ	2	
	看護学Ⅲ	2	
介護概論	介護福祉援助概論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	介護福祉援助概論Ⅱ	2	
栄養学	生活と栄養	2	

上記の「社会福祉主事の資格に関する指定科目」のうちから3科目以上修得し、卒業すること。  
（指定科目において、本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで当該指定科目を修得したものとみなす。ただし、履修方法が指定されている科目はすべてを履修、修得することで1科目としてみなす。）